

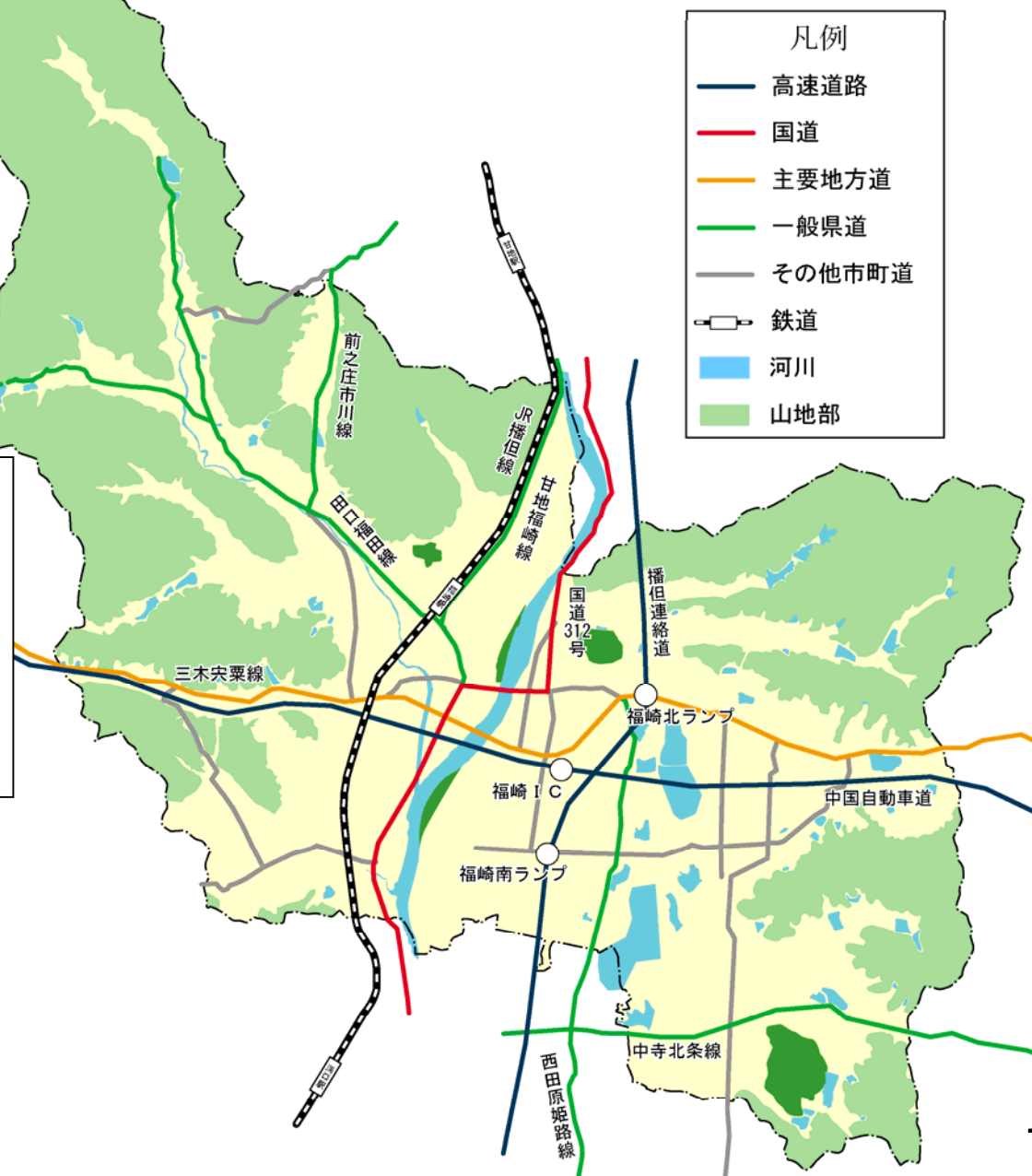
福崎町の交通をとりまく現状

— 目次 —

1. 福崎町の概要	1
2. 人口	2
3. 福崎町及び周辺市町の人の動きの概要	5
(1) 移動目的	5
(2) 利用交通手段(代表交通手段)	6
4. 公共交通(鉄道・バス)の現状	7
(1) 公共交通網及び運行状況	7
(2) 鉄道	8
(3) 路線バス	9
(4) サルビア号(コミバス)	10
5. 道路及び自動車交通の現状	12
(1) 道路整備状況	12
(2) 自動車交通状況	14
(3) 自動車登録台数	16
(4) 高齢者の免許保有者数及び人身事故件数	17
6. 全国的な環境意識への高まり	18

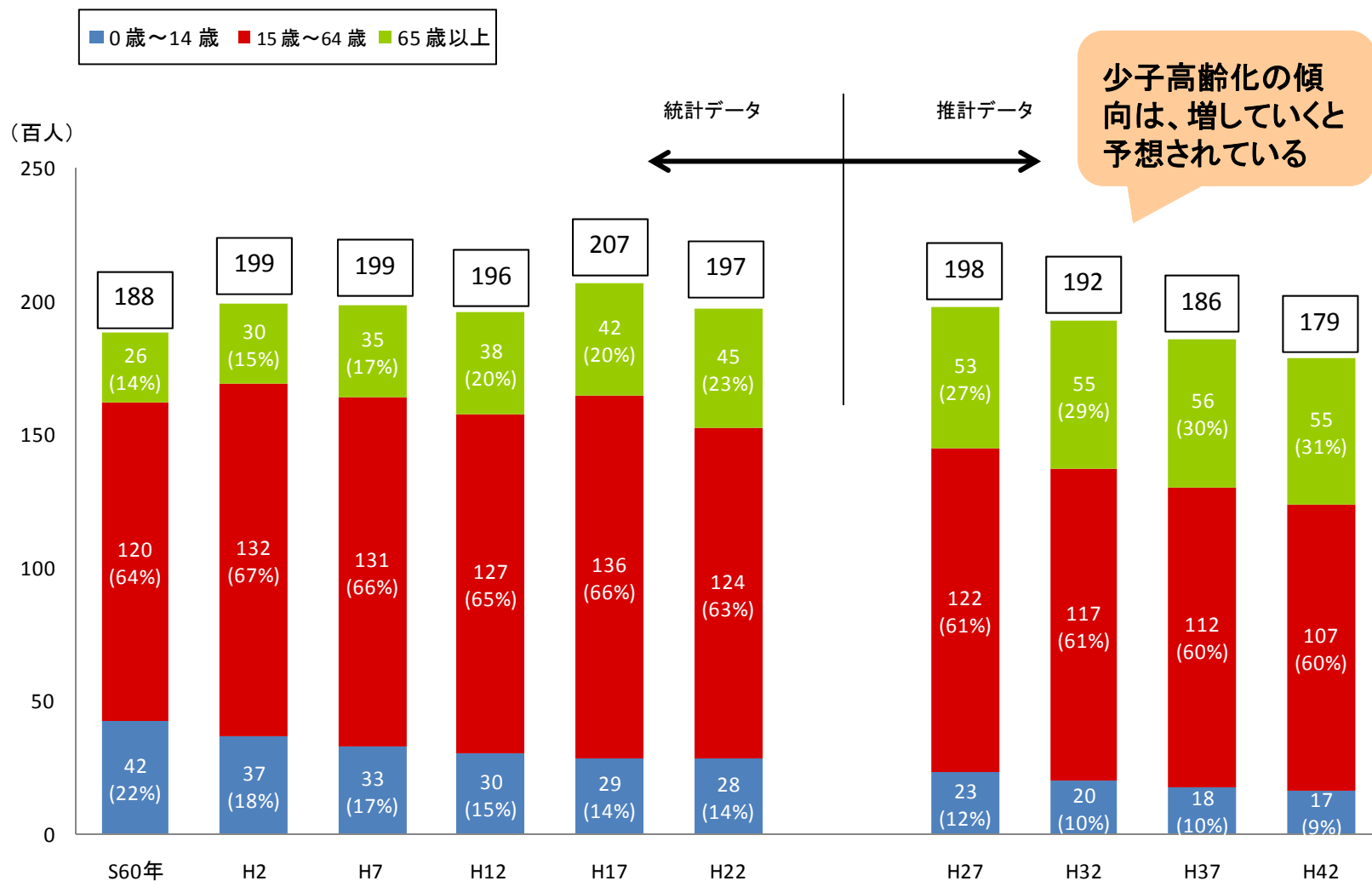
福崎町の交通をとりまく現状

平成22年7月末現在



2. 人口

< 年齢構成別人口の推移 >



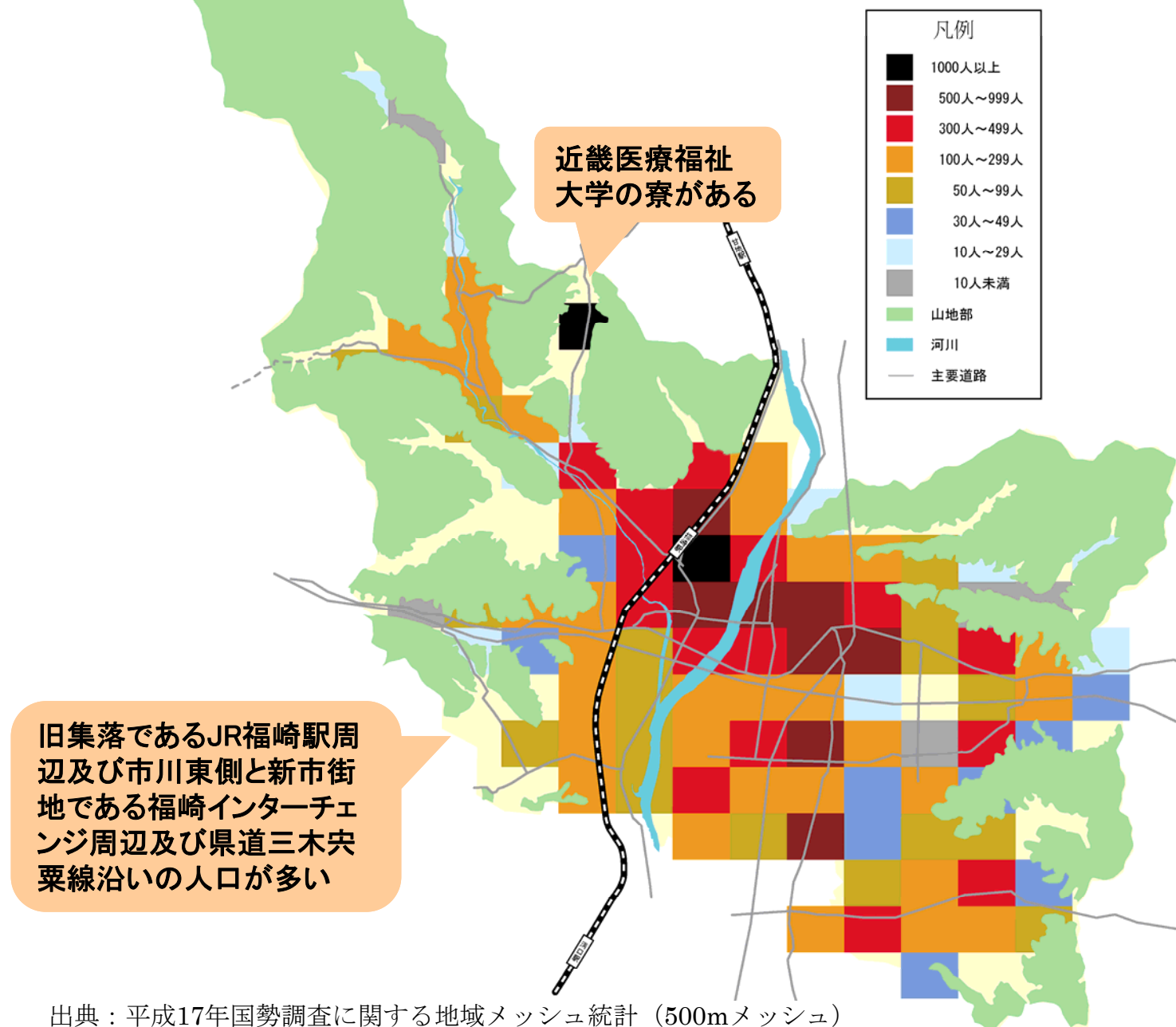
出典：H 1 7 年以前：国勢調査結果

H 2 2 年：福崎町統計データ（7月末現在）

H 2 7 年以降：国立社会保障・人口問題研究所 市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）

福崎町の交通をとりまく現状

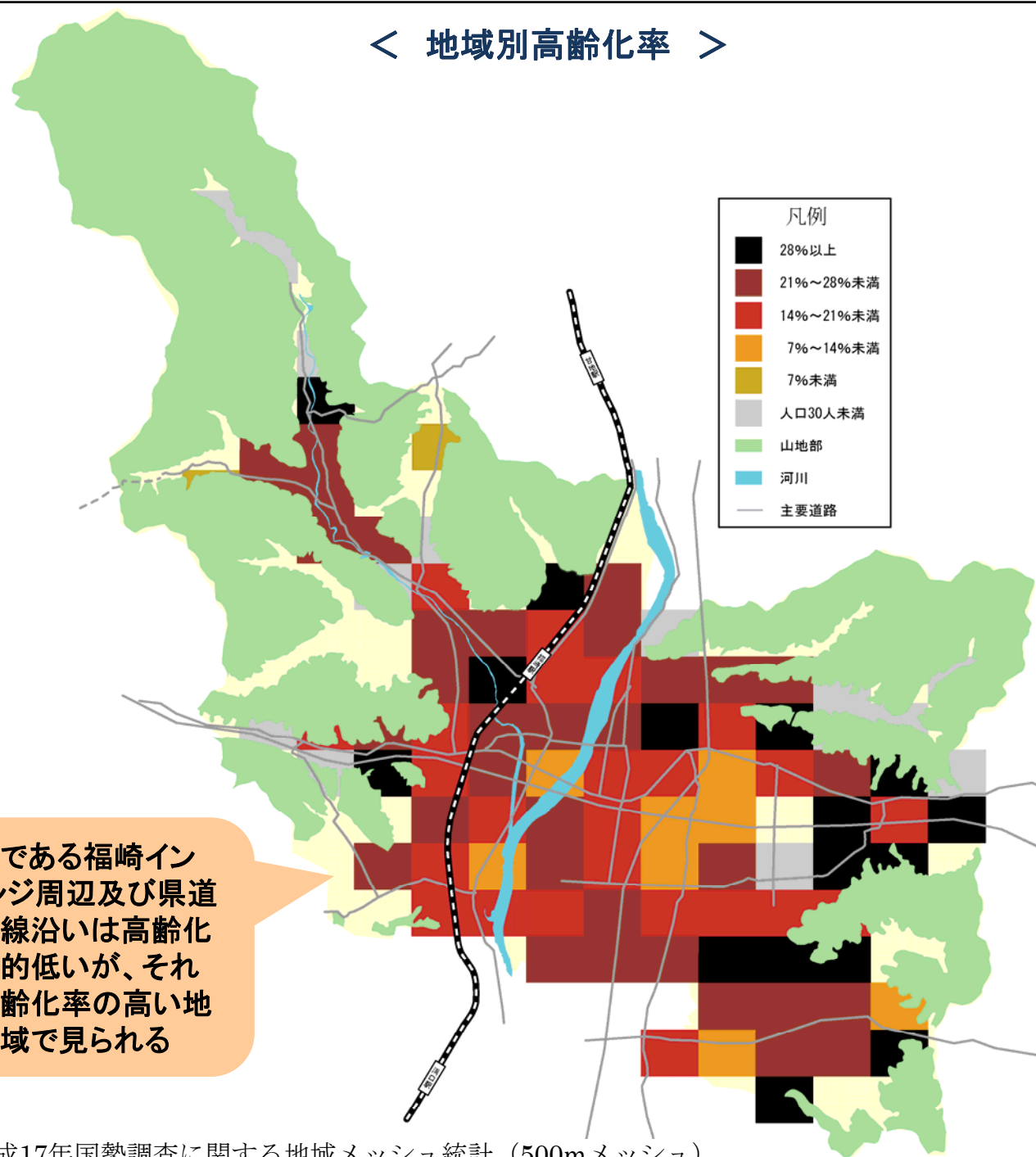
< 地域別人口 >



出典：平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計（500mメッシュ）

< 地域別高齢化率 >

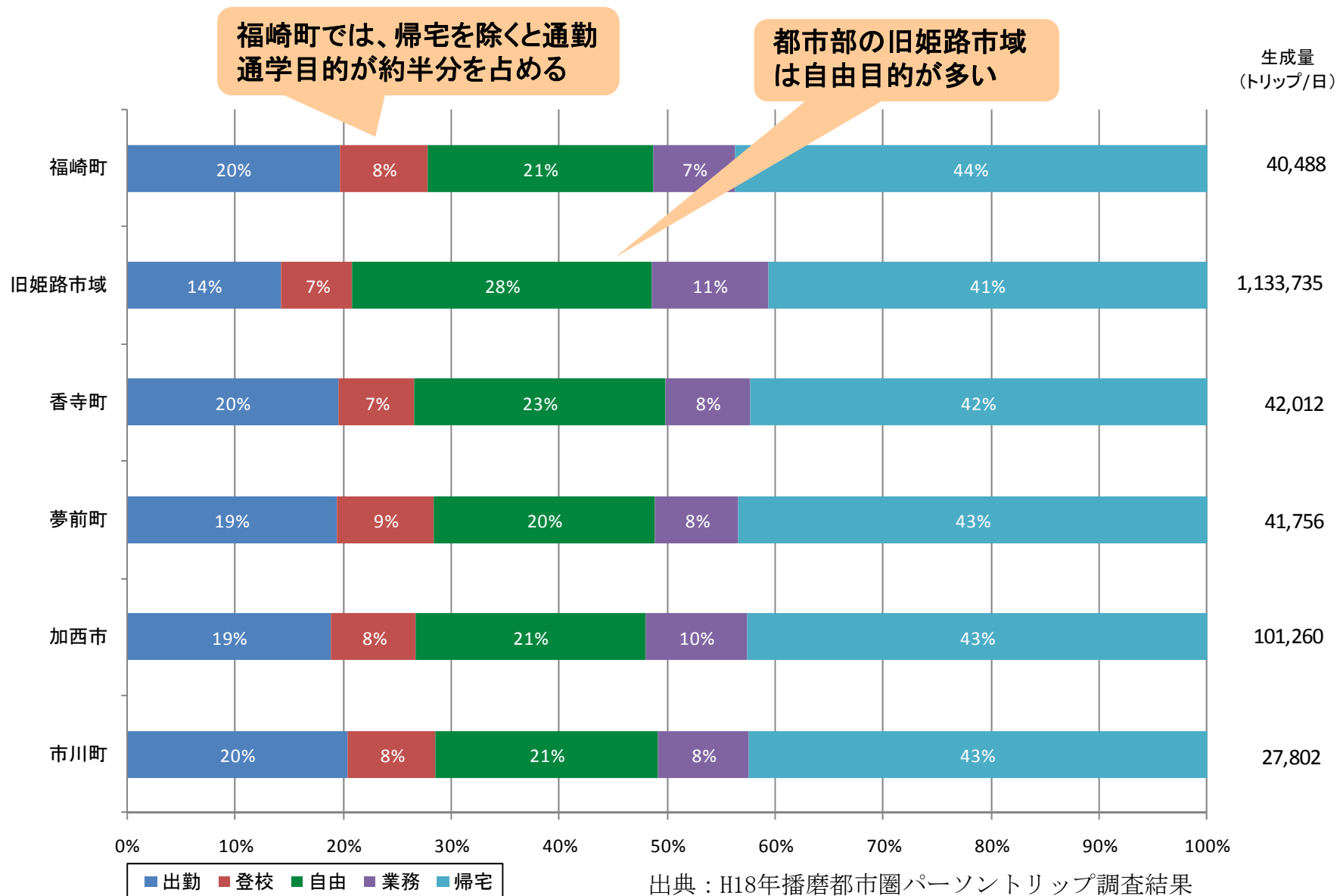
新市街地である福崎インターチェンジ周辺及び県道三木宍粟線沿いは高齢化率が比較的低いが、それ以外は高齢化率の高い地域が町全域で見られる



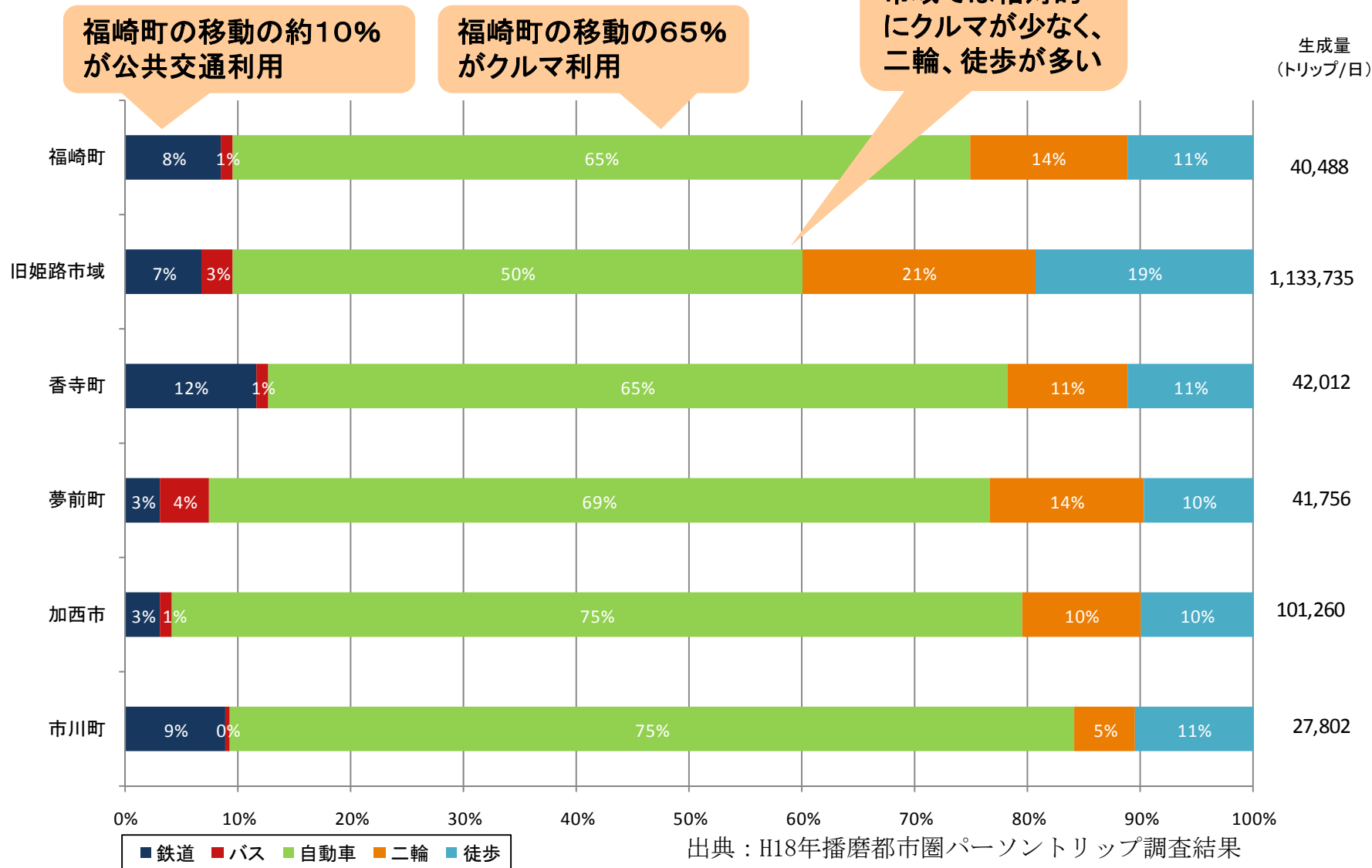
出典：平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計（500mメッシュ）

3. 福崎町及び周辺市町の人々の動きの概要

(1) 移動目的



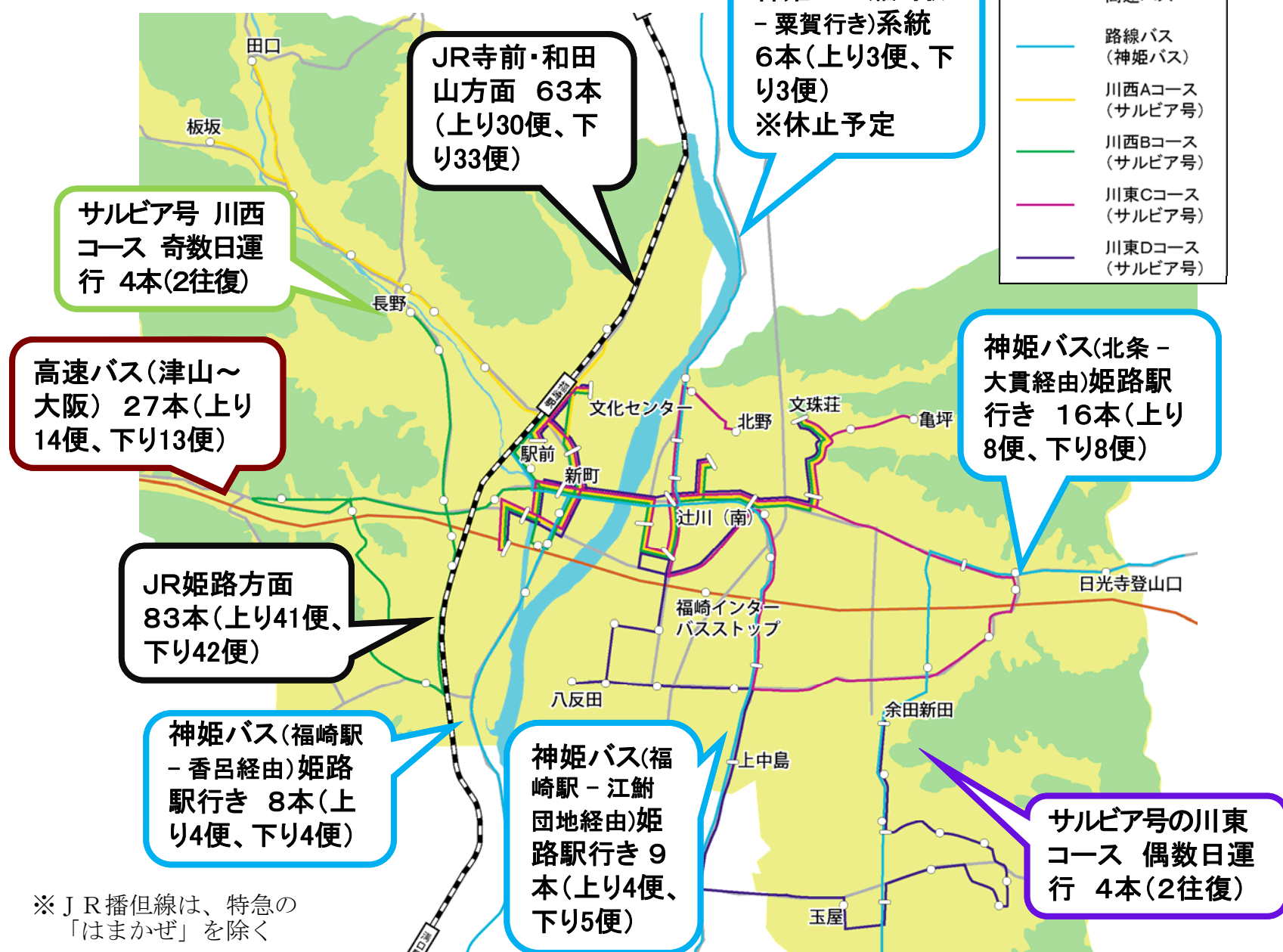
(2) 利用交通手段(代表交通手段)



※代表交通手段とは、1つのトリップの間でいくつかの交通手段を用いている場合、このトリップで利用した主な交通手段を代表交通手段とします。代表交通手段の集計上の優先順位は高いほうから、鉄道→バス→自動車→二輪→徒歩の順となります。

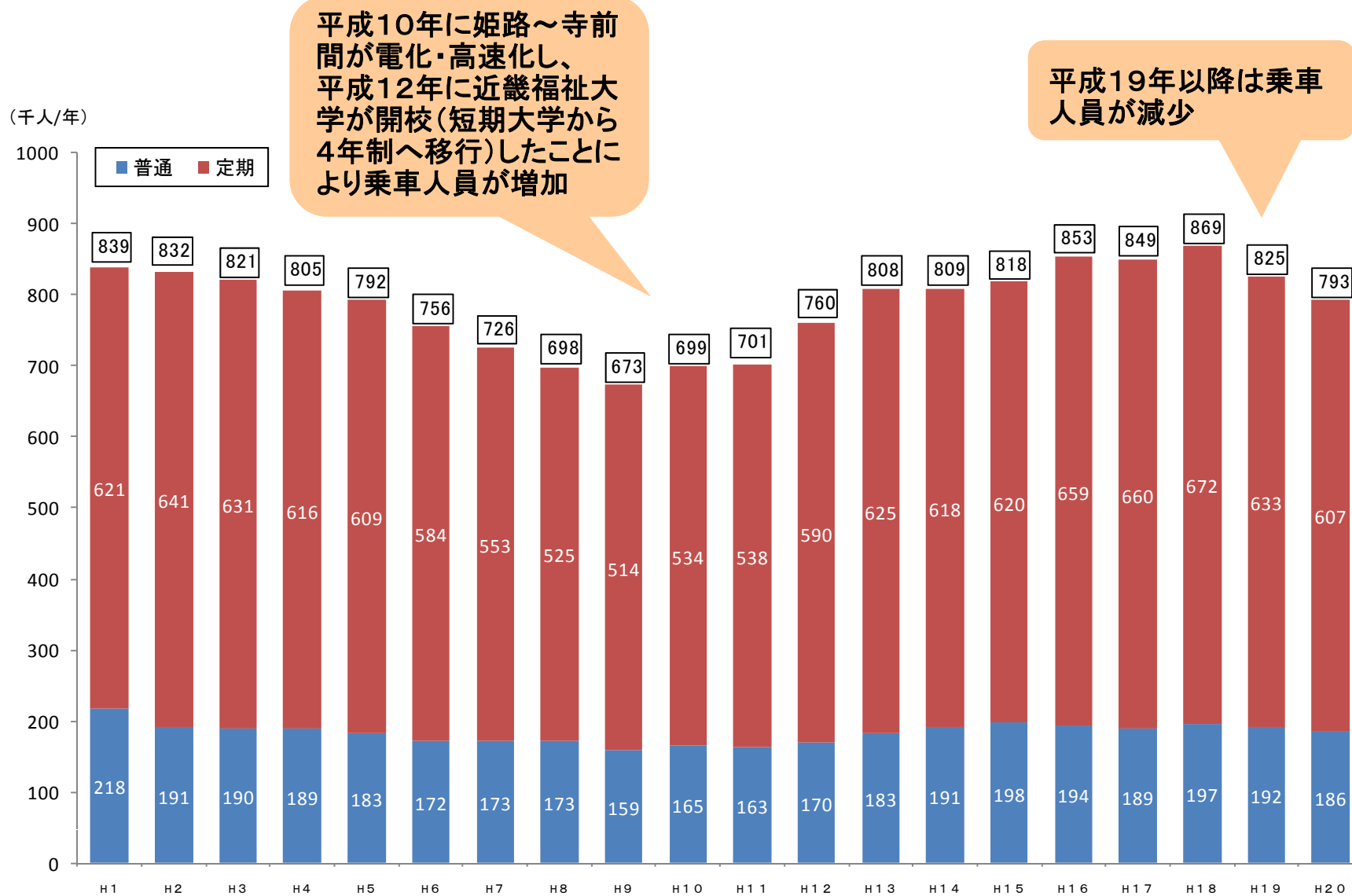
4. 公共交通(鉄道・バス)の現状

(1) 公共交通網及び運行状況



(2) 鉄道

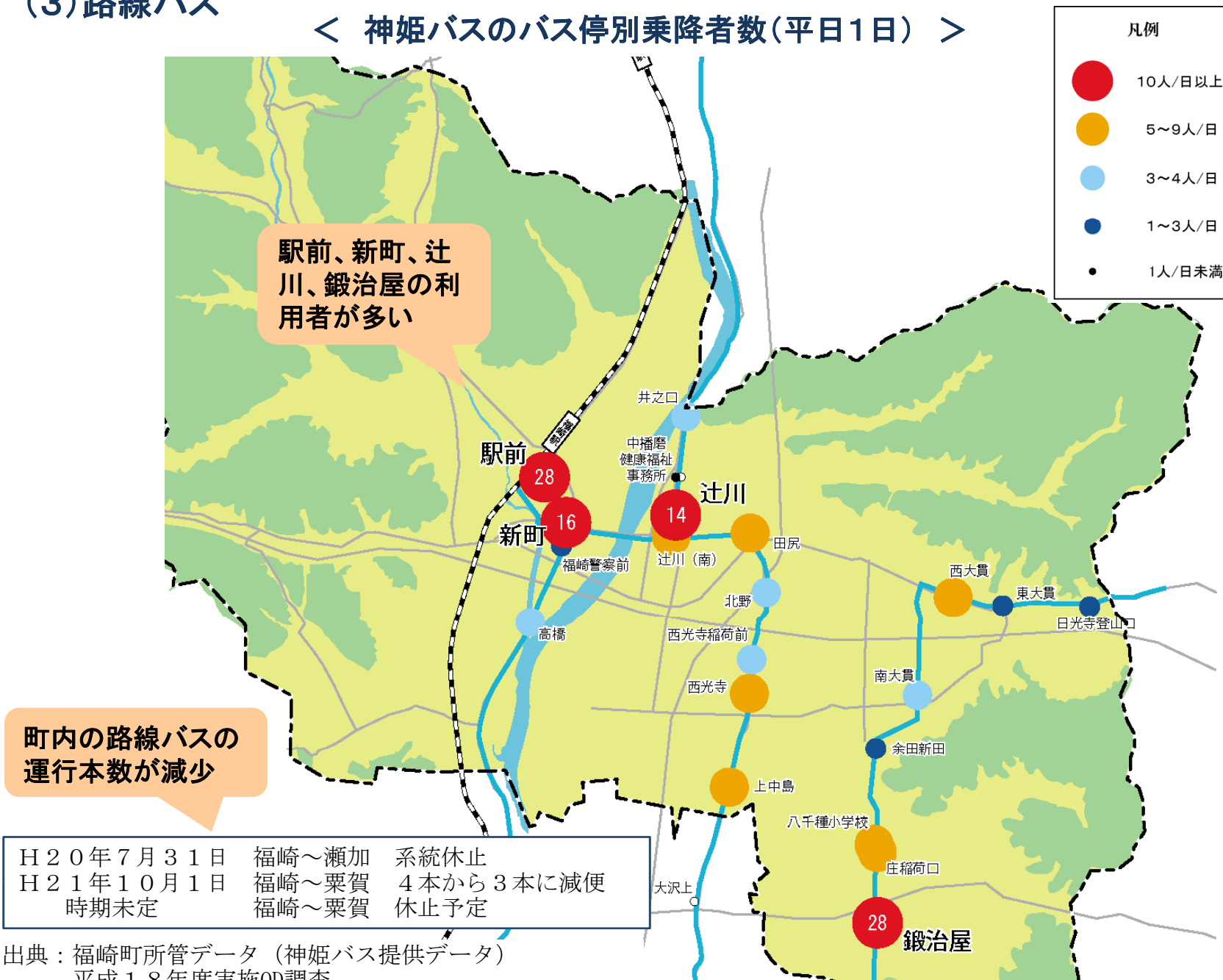
< 福崎駅年間乗車人員の推移 >



出典：福崎町統計データ

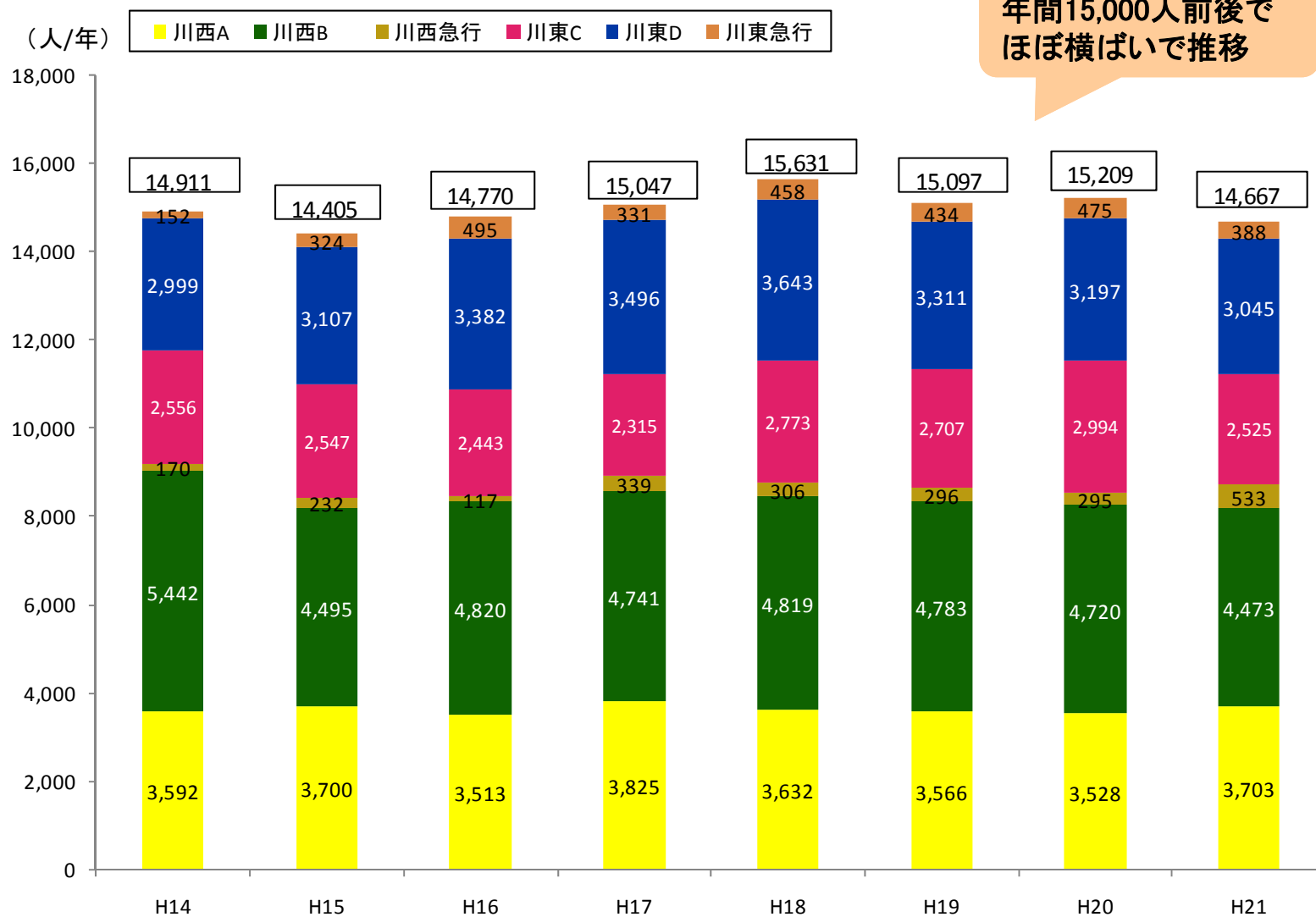
(3) 路線バス

< 神姫バスのバス停別乗降者数(平日1日) >



(4)サルビア号(コミバス)

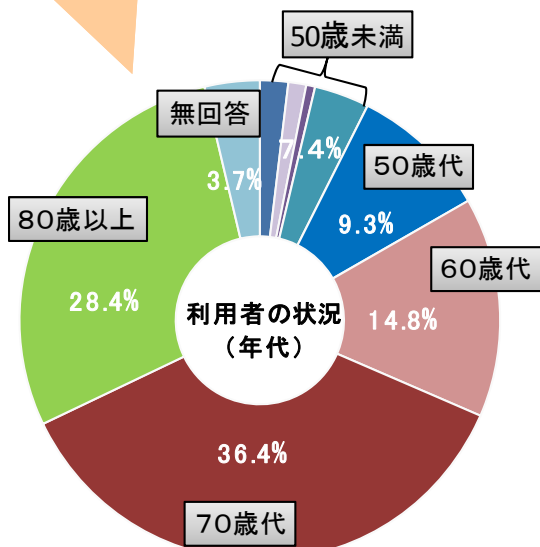
< サルビア号年間乗車人員の推移 >



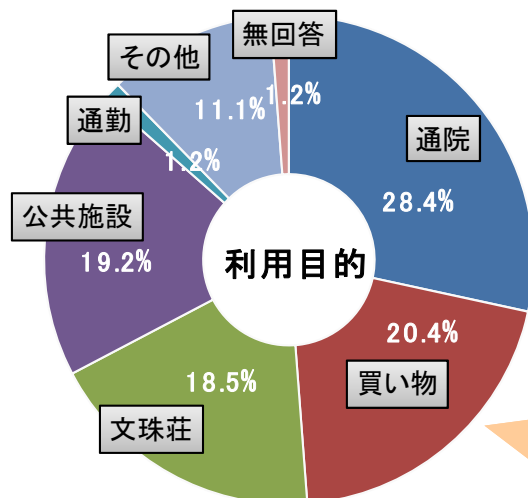
出典：福崎町所管データ

＜ サルビア号 運行日当たりバス停別乗降者数 ＞

利用者の約8割が60歳以上



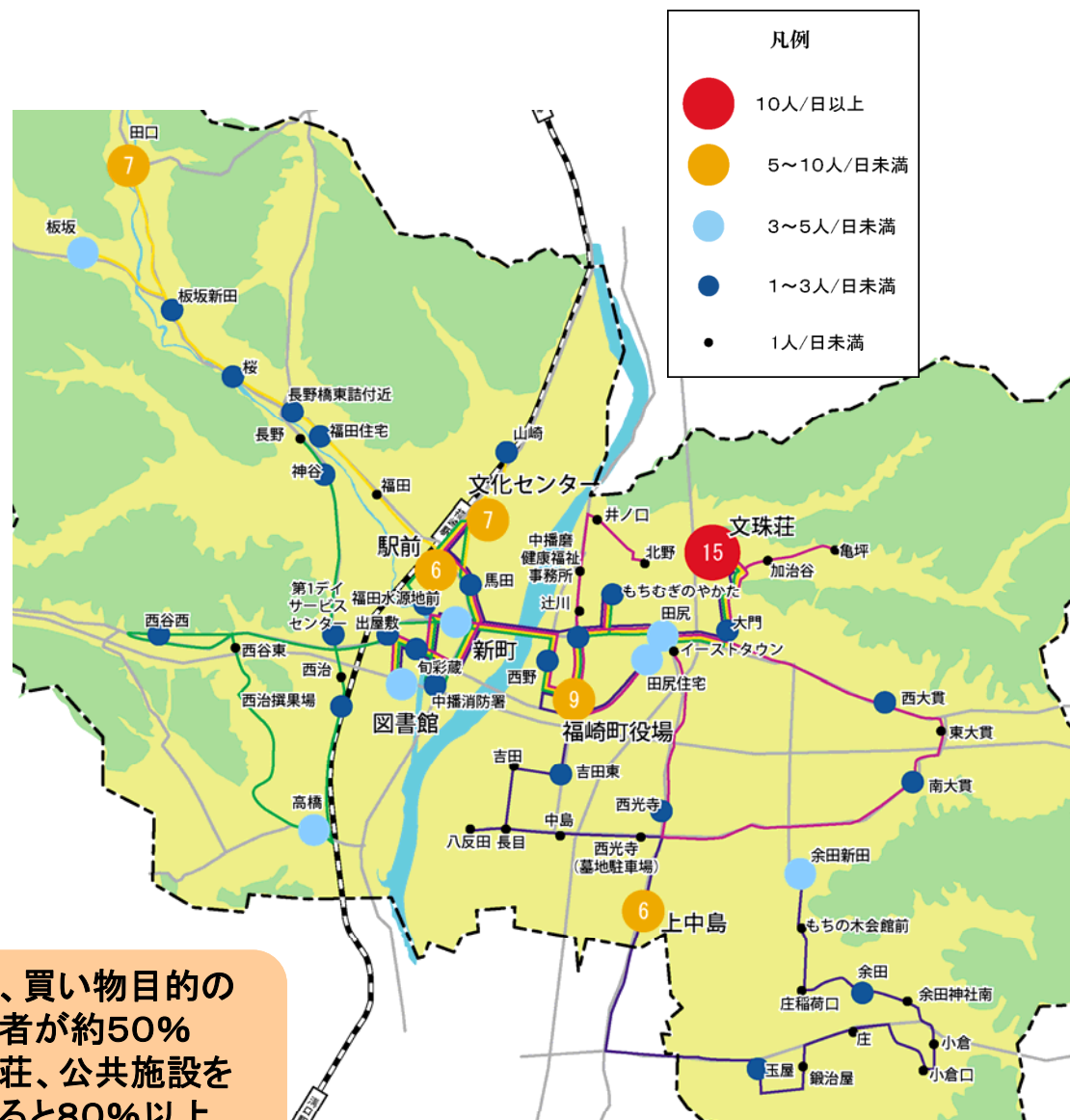
回答者数計のべ163人



回答者数計のべ163人

出典：サルビア号に関するアンケート
(平成19年度実施)

通院、買い物目的の
利用者が約50%
文珠荘、公共施設を
含めると80%以上

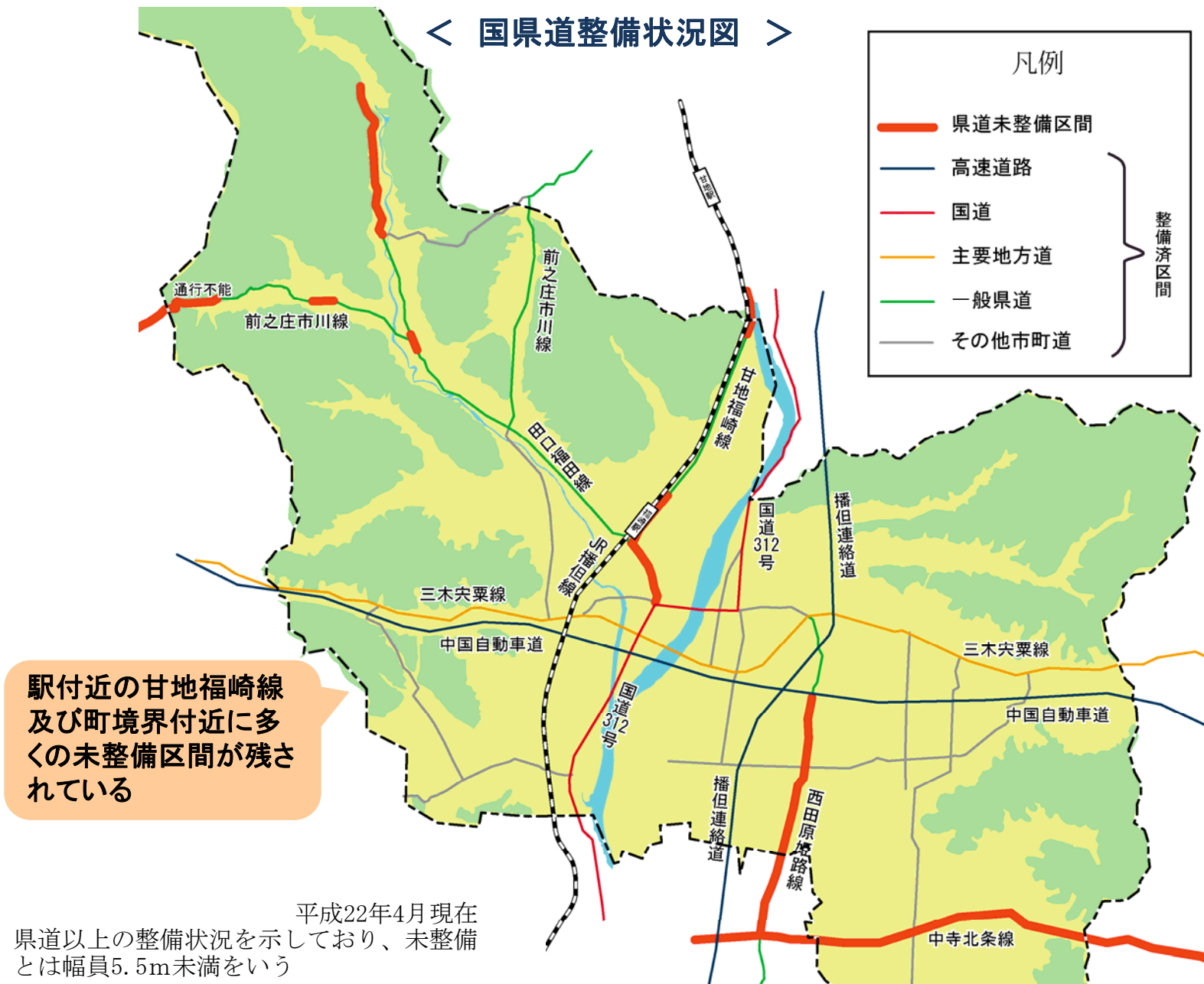


※平成21年1月～平成21年12月の日平均

5. 道路及び自動車交通の現状

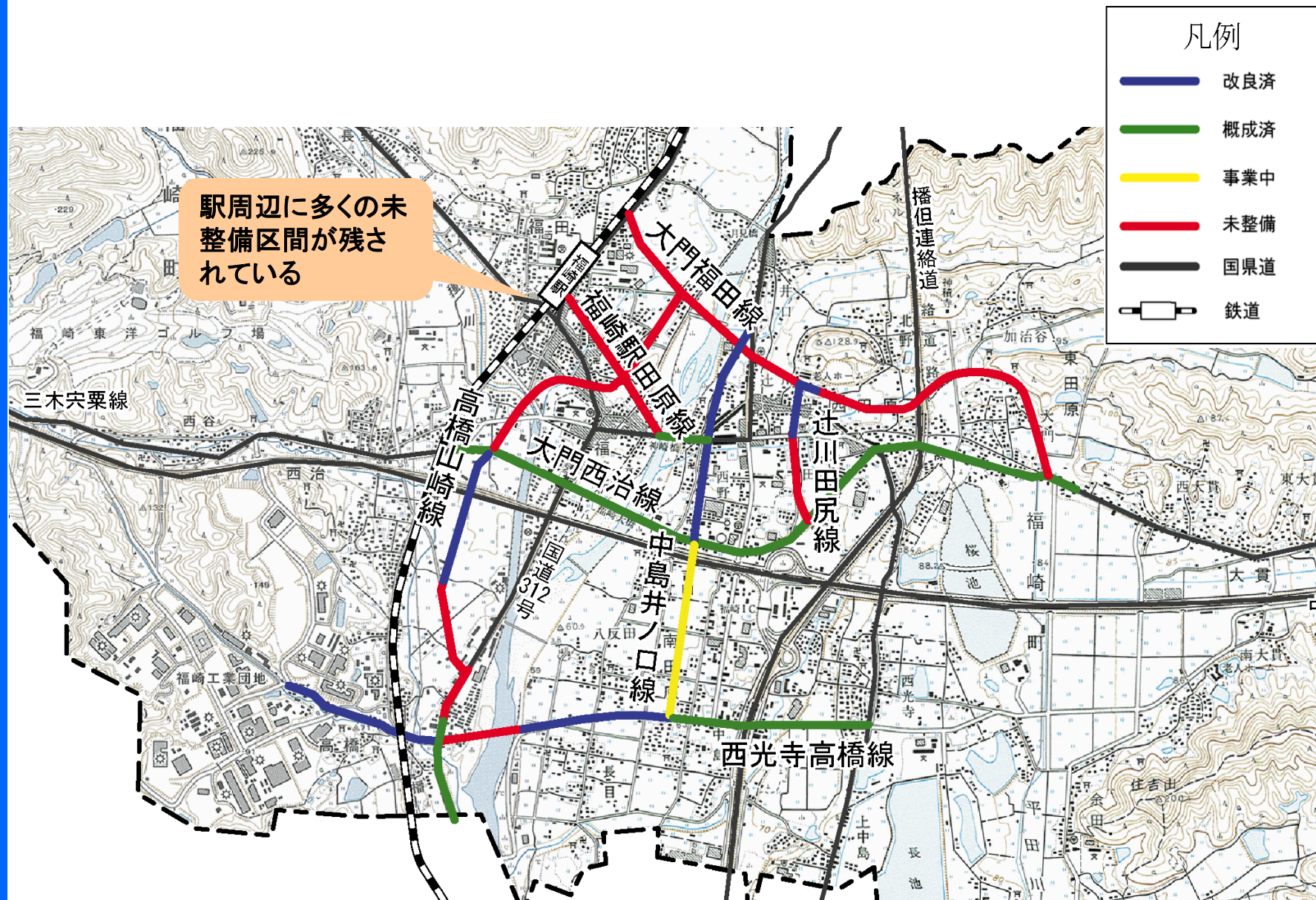
(1) 道路整備状況

< 国県道整備状況図 >



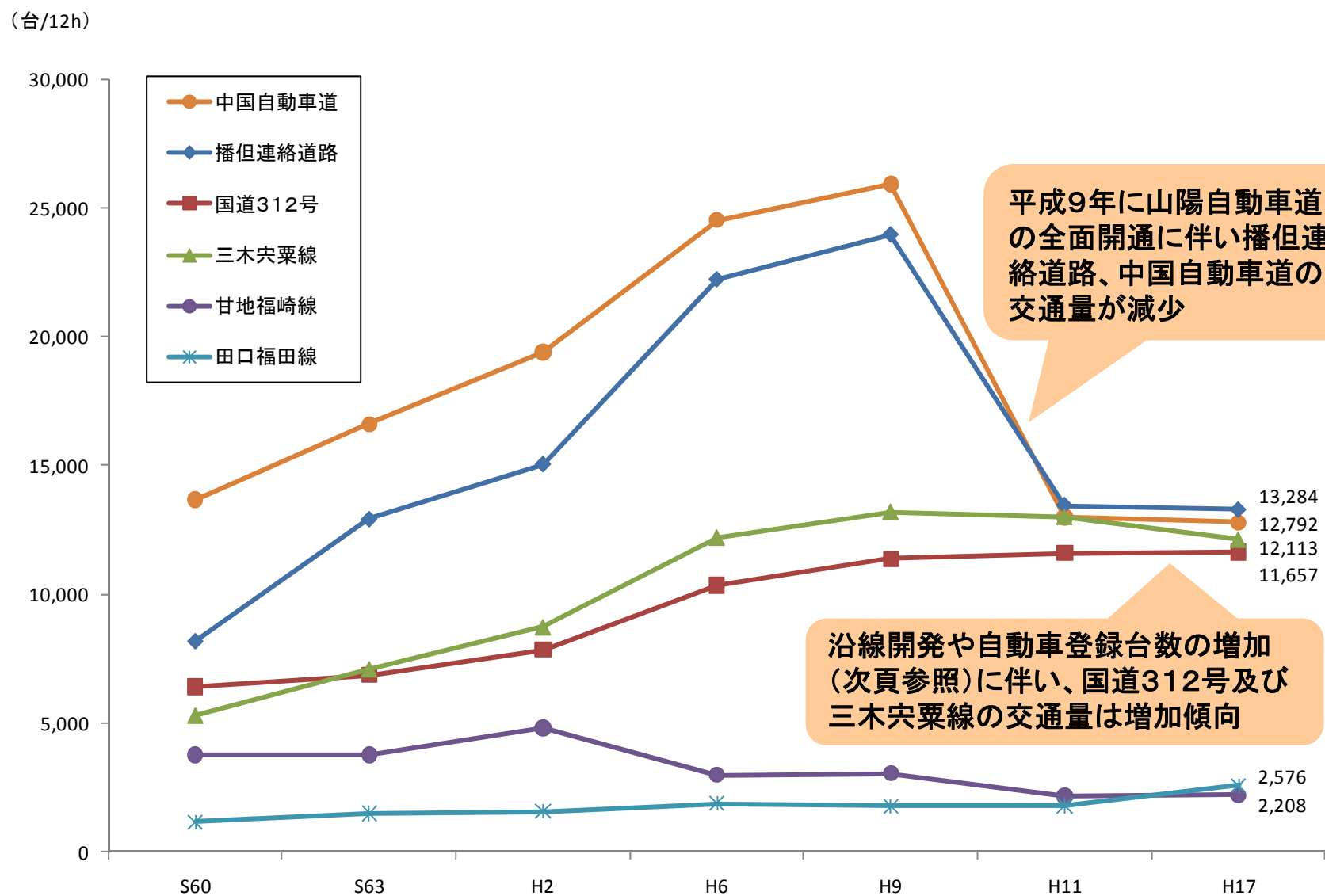
福崎町の交通をとりまく現状

< 都市計画道路整備状況図 >



平成22年8月現在

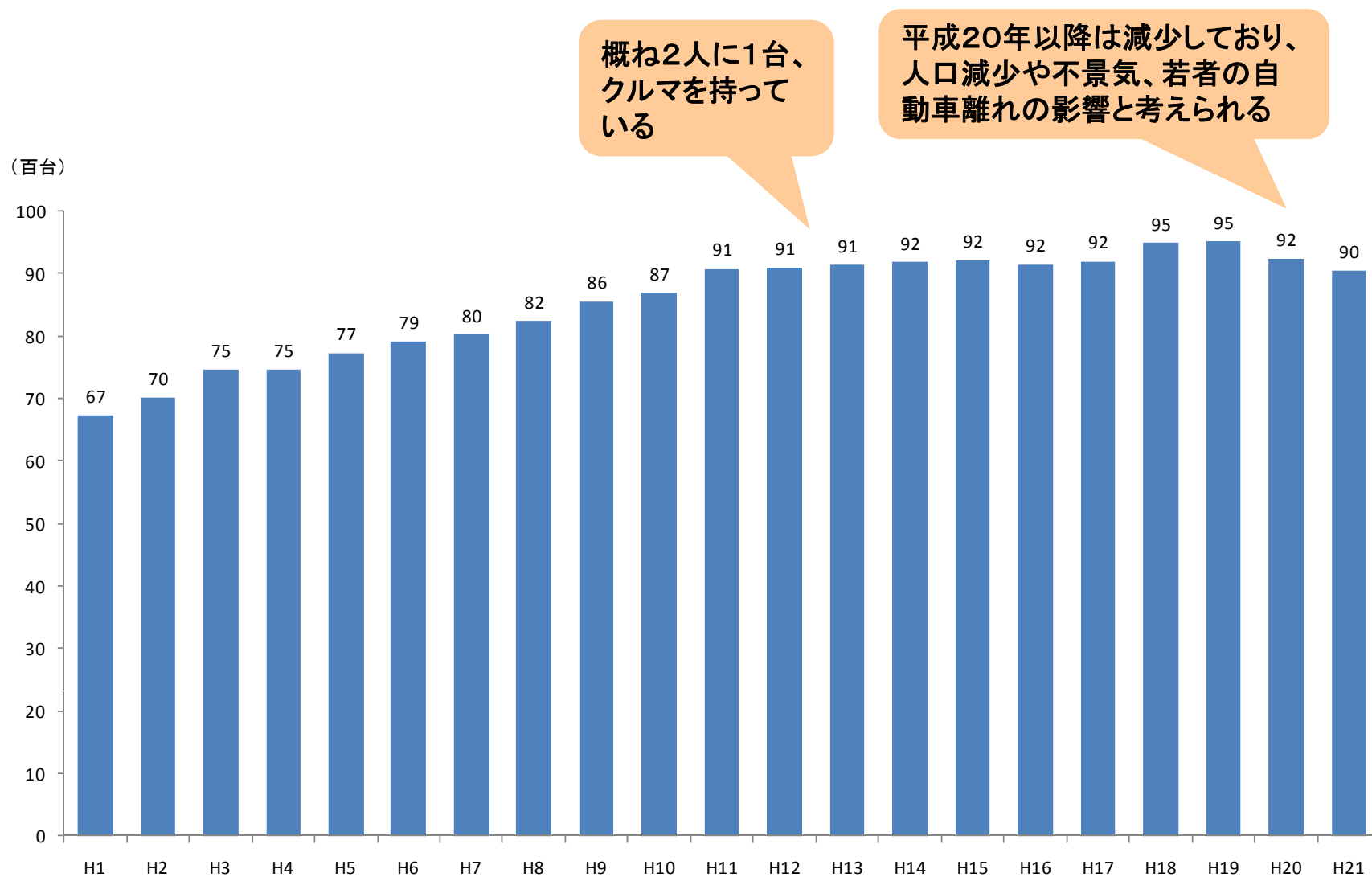
< 主要路線の自動車交通量の推移(昼間12時間) >



出典：道路交通センサス

(3) 自動車登録台数

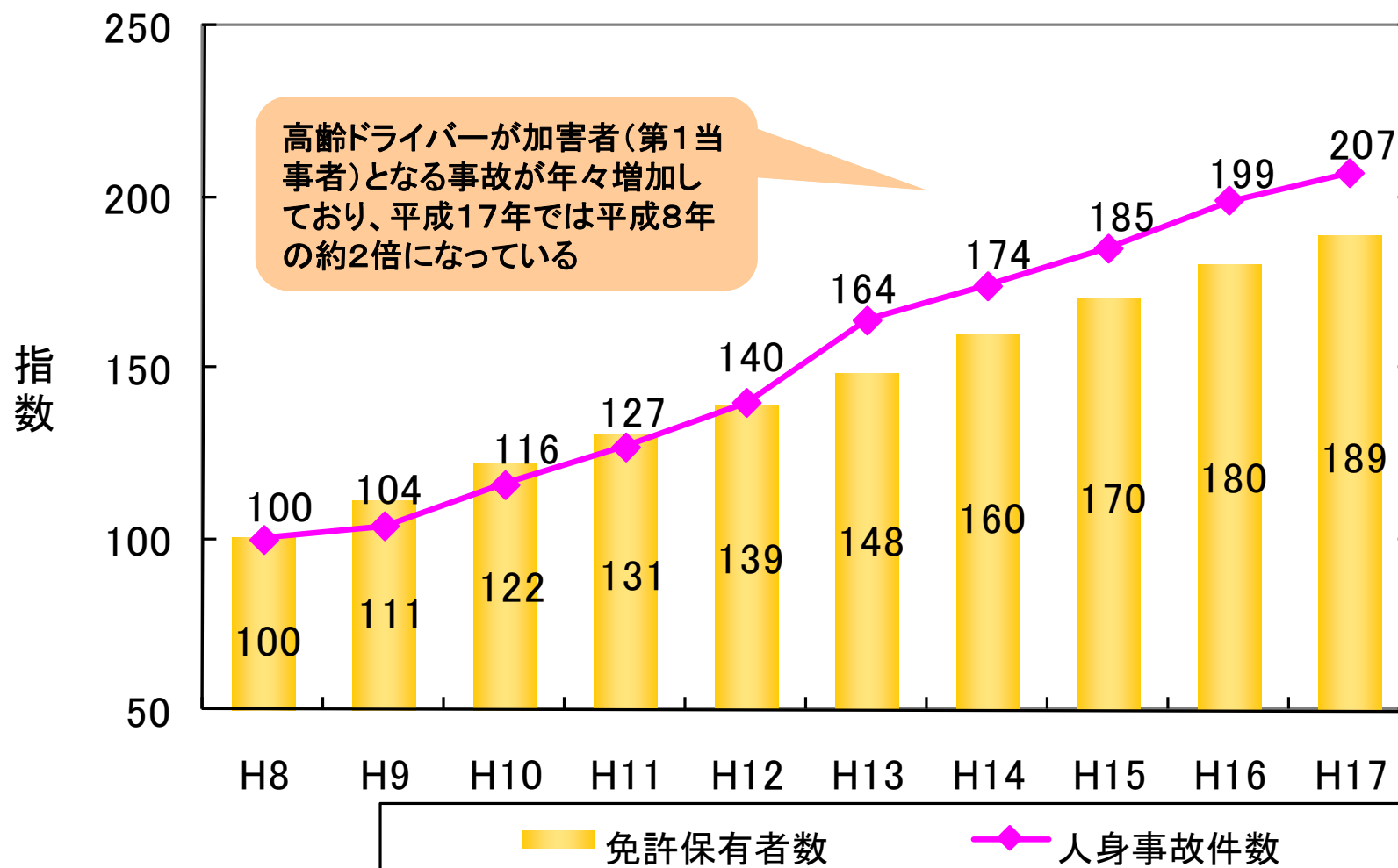
< 自動車登録台数の推移 >



出典：福崎町統計データ

(4) 高齢者の免許保有者数及び人身事故件数

＜ 兵庫県内の高齢者の免許保有者数及び人身事故件数の推移 ＞



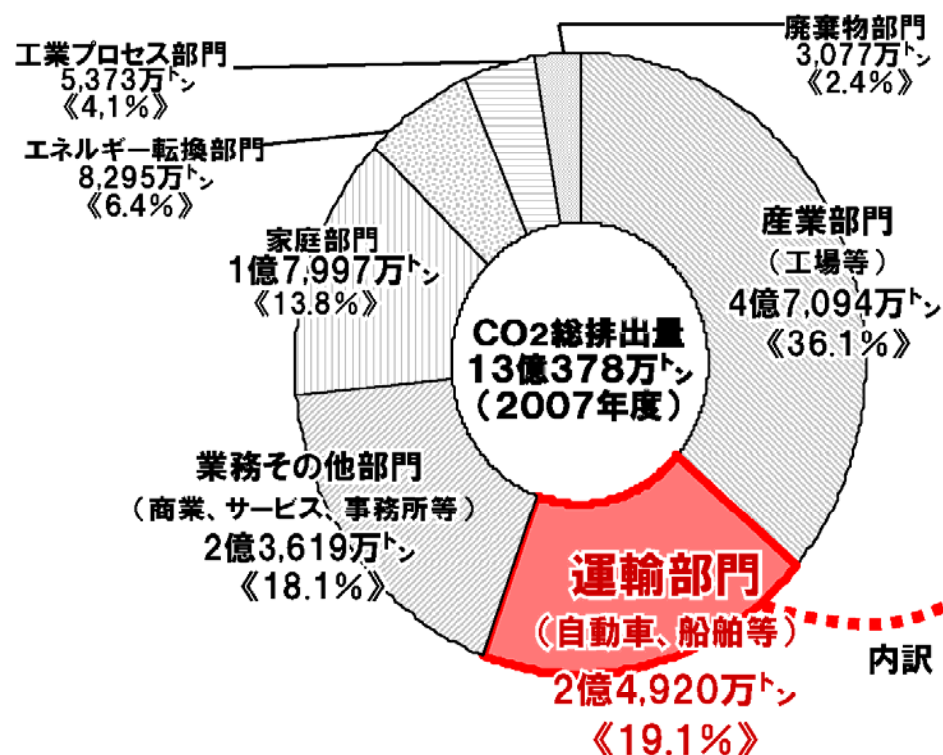
注1) 免許保有者数、人身事故件数とも平成8年を基準とした兵庫県内の推移を指数で示している。

注2) 人身事故件数は、第1当事者(原付以上)の件数を示している。
第1当事者とは交通事故に関与した者のうち、過失(違反)が最も重いものをいい、過失(違反)同程度の場合は、被害の軽いものをいう。

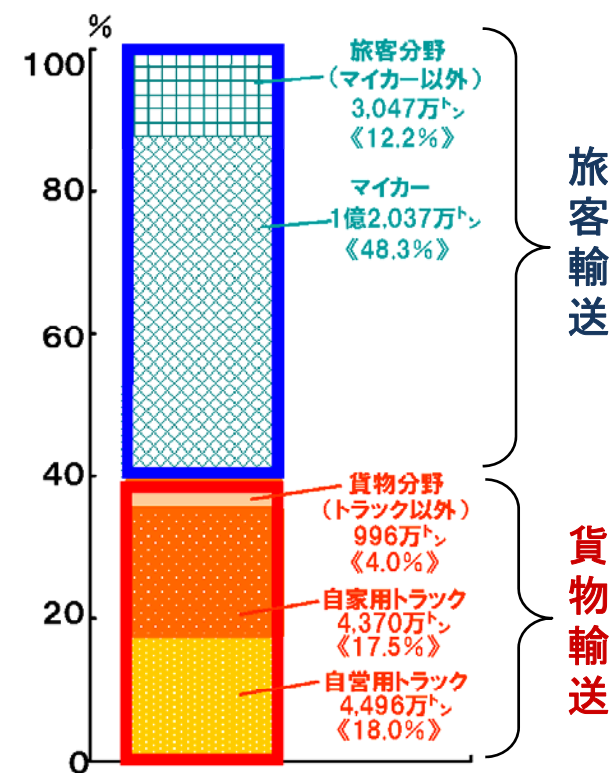
6. 全国的な環境意識への高まり

< 日本全体のCO₂排出量(平成19年度) >

日本の各部門におけるCO₂排出量



運輸部門におけるCO₂排出量

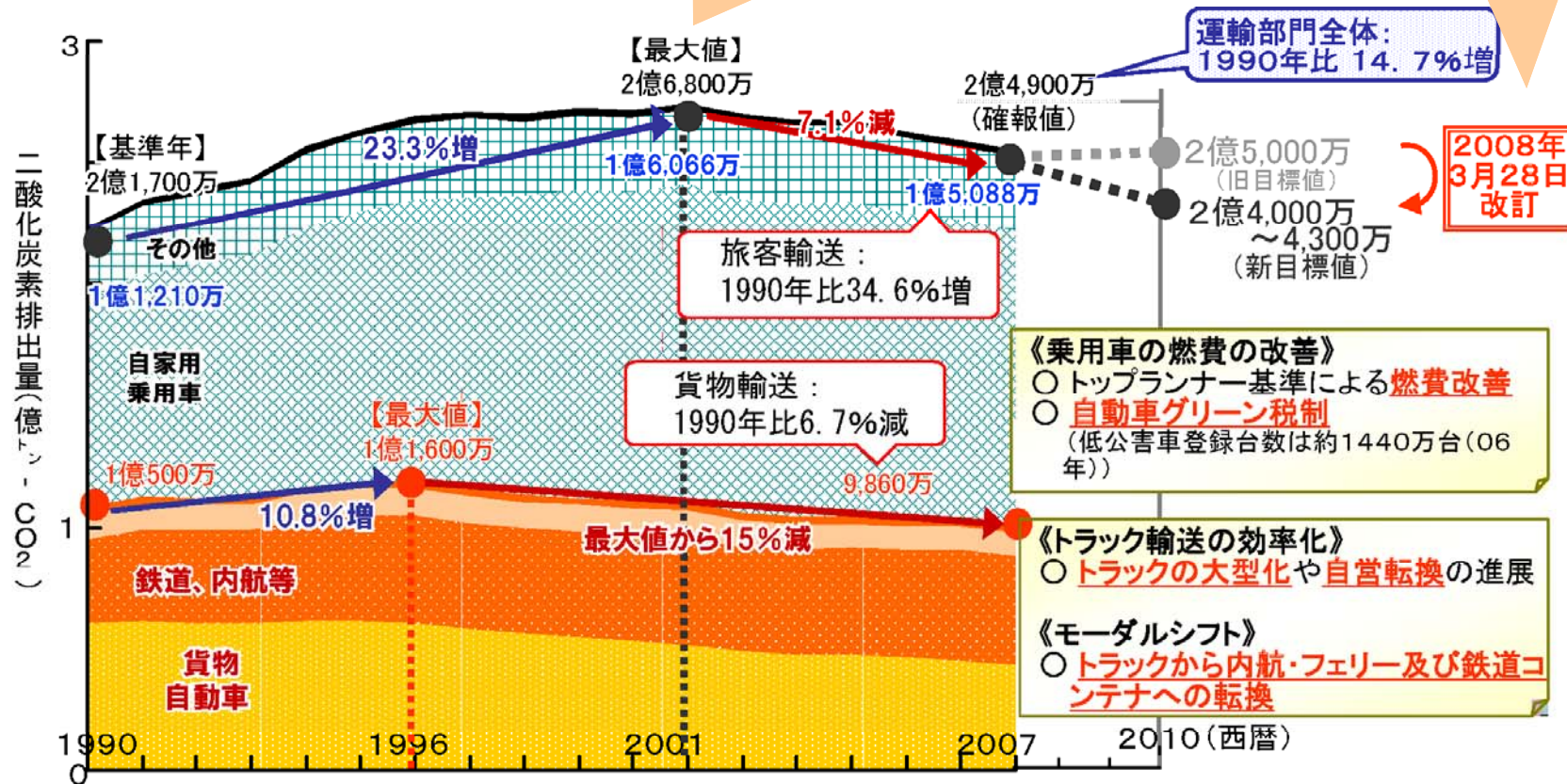


全体のCO₂排出量のうち、運輸部門が約2割を占め、その約半分がマイカー

< 運輸部門のCO₂排出量 >

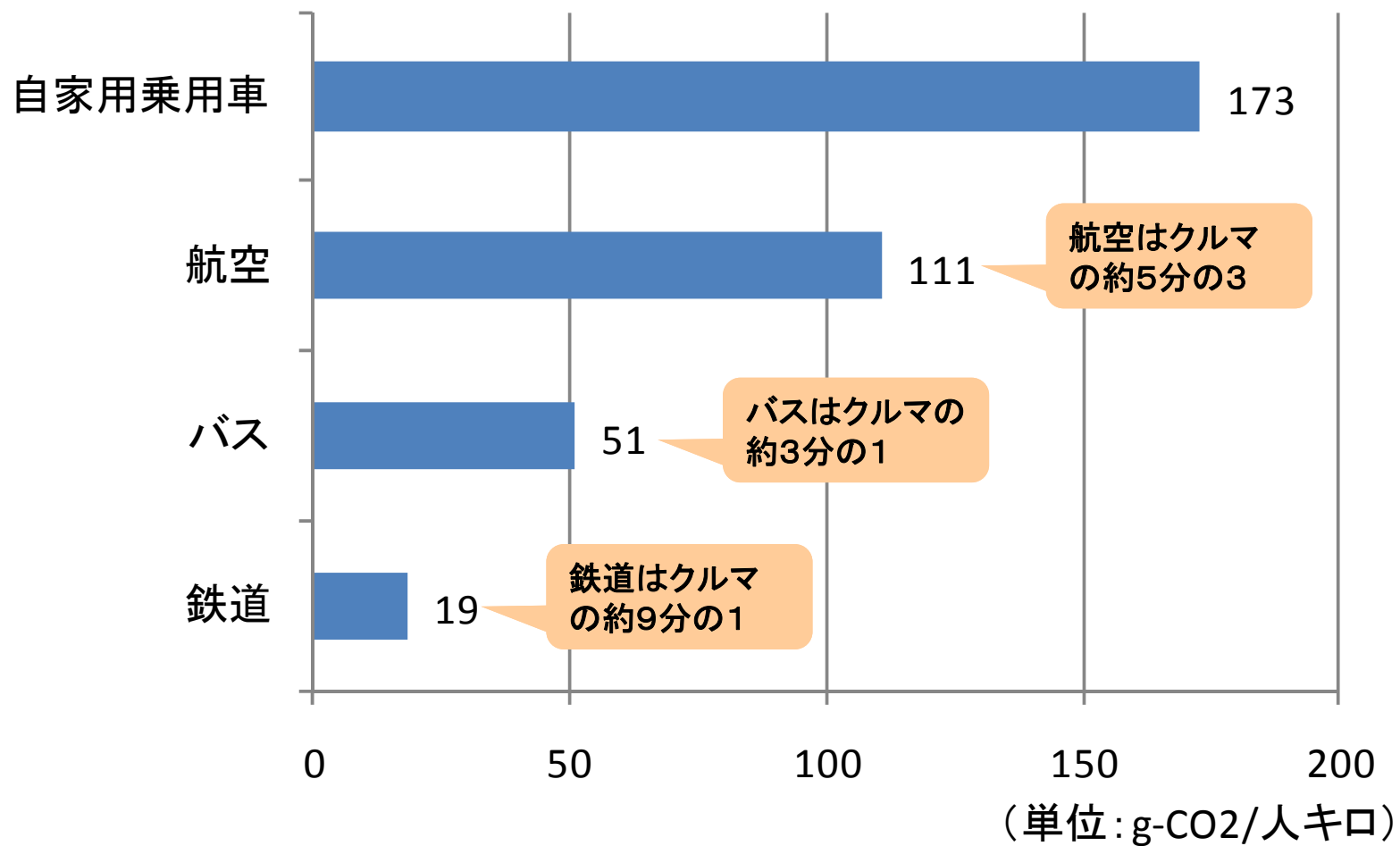
旅客輸送の排出量は2001年以降減少傾向にあるが、2007年は15,088万トンであり、1990年比で34.6%増

2008年3月28日に旧目標値より約1,000万トン削減した新目標値に改訂



出典：国土交通省資料：交通基本法の制定と関連施策の充実に向けて（中間整理）

< 輸送量当たりのCO2排出量(平成17年度) >



出典: 国土交通白書2008